

「メディア デザイン ウィーク 2016」を開催します

(本資料の内容は変更の可能性があります)

静岡文化芸術大学では、2月5日(金)から2月11日(木)まで、「メディアデザインウィーク 2015」を開催します。メディアデザインに関係する学生作品の展示と、関連分野の専門家による講演で構成されるイベントで、今年で4年目の開催となります。一般の方も参加可能で、すべて無料となっています。

作品展示では本学デザイン学部メディア造形学科3年生作品を中心に展示・上映を行います。3年生は、デザイン能力を完成させる途上の時期にありますが、成長中の彼らの作品をご覧いただき、彼らが残りの学業の期間を有効に過ごすためにも、ぜひ皆さんからご意見やアドバイスをいただきたいと思ひます。

その他にデザイン学部で行われている様々な授業や課外活動の成果も展示します。昨年秋に東京で行われた国際的なクリエイティブイベント「TOKYO DESIGN WEEK」学校作品展のセミグランプリ作品の「kyomei」の展示も行われます。

また、本学と同様にメディアデザイン分野の教育を実践している、本学と親交のある大学からも、学生作品を数点出展していただきます。

【学生作品の展示・上映】

日時 : 2015年2月5日(金) から 2月9日(火)

午後0時から午後6時まで

ただし、6日(土)と7日(日)の講演会が開催される時間帯には展示・上映は行いません。

メディアデザインウィークの終了は11日ですが、作品展示・上映は9日で終了しますので、ご注意ください。

会場 : 静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター、講堂、学生ホール

申込み : 不要

参加費 : 無料

【講演会】

メディアデザインウィーク2015では、「音楽」「ゲーム」「デザイン戦略」「錯視」「造形」「マンガ」等の分野から、それぞれ魅力的な専門家を招きました。これらの専門家の方々のお話には、メディアデザインの状況を認識し、将来のメディアデザインを考える上で、欠かせない話題がたくさん含まれています。これらの講演にぜひご参加いただきたいと思ひます。

申込み:不要

参加費:無料

講演1 「キーボード・奏法・音楽の進化」

講師:音楽プロデューサー 氏家克典

日時:2月6日(土) 午後3時から午後5時まで(30分前から開場します)

会場:本学 南棟2階 280 講義室

「キーボード」は常に音楽シーンの中心的な楽器であり、「キーボード」によって様々な楽曲が作られ、演奏されてきました。そして、近年の電子技術の発達により「キーボード」は大きな進化を遂げています。音楽活動やシンセサイザーのプログラミング等に多彩な経験をお持ちの氏家克典氏に、これまでのキーボードの進化の歴史と、それに伴って産み出された新しい奏法や音楽ジャンルの数々について、実際の演奏を交えて語っていただきます。

講演2 「「ソーシャル時代はクリエイター受難の時か？」

講師:ゲームプロデューサー／デザイナー 内田明理

日時:2月7日(日) 午後1時30分から午後3時30分まで(30分前から開場します)

会場:本学 南棟2階 280 講義室

ゲームをはじめ様々なコンテンツ業界の市場がパッケージ販売から配信型に移り、近年はコンテンツ自体に対価を求める事が困難になってきたと言われています。ゲーム業界で「ときめきメモリアル」「ラブプラスシリーズ」等、数々のヒット作品を作り続けてきた内田明理氏をお招きして、ソーシャル時代におけるクリエイターの果たすべき役割について語っていただきます。会場の皆さんと一緒に、「クリエイターがクリエイティブであること」の意味を改めて考えていきたいと思えます。

講演3 「デザインの教育・役割、新時代へ」

講師:戦略デザインコンサルタント 中西元男

日時:2月8日(月) 午後6時30分から8時30分まで(30分前から開場します)

会場:本学 南棟2階 280 講義室

(本講演は「[SUAG イブニングレクチャー2016 春](#)」との共催になります)

あらゆる企業活動、文化活動には、単なるグラフィックデザインやプロダクトデザインを超えた「ブランド」のデザイン、「戦略」のデザインが重要な要素になっています。この分野を早くから手がけ、日本のデザイン界を主導してきた中西元男氏をお招きして、デザインのあり方、そしてデザイン教育の果たす役割、デザインの

将来等について語っていただきます。セキスイハイム、INAX、NTT、NTT DoCoMo、毎日新聞、伊藤忠、日産自動車、日本生命、ドトールコーヒー、キリンビール、早稲田大学等の多様なブランド・戦略の構築に実績を持つ中西氏の講演には、あらゆる分野のデザイン活動への示唆が含まれています。

講演4 「錯視立体のデザイン」

講師：明治大学特任教授 杉原厚吉

日時：2月9日（火）午後6時30分から8時30分まで（30分前から開場します）

会場：本学 南棟 2階 280 講義室

一見するとありえない形状に見える「錯視立体」は、人の目を惑わすために、形状、寸法、位置関係等が緻密にデザインされています。これまでにない発想で「錯視立体」の世界を切り開いてきた杉原厚吉氏をお招きして、考え方や製作の実際について語っていただきます。「錯視立体」の手法から、「普段と異なる感覚を人に与える」というデザイン活動の基本に関する示唆を得ることができるはずです。講演会場では、杉原氏が製作した作品数点を実際にご覧いただき、錯視現象を体験できます。

講演5 「情景の造形」

講師：プロモデラー 山田卓司

日時：2月10日（水）午後6時30分から8時30分まで（30分前から開場します）

会場：本学 南棟 2階 280 講義室

情景を記録、描写するためには、絵画や映像等多様なメディアを利用することができますが、とりわけ「造形」によって表現された情景は我々を強く惹きつける力を持っています。懐かしい昭和の情景等、様々なジャンルの造形を手掛ける浜松出身のプロモデラーの山田卓司氏をお招きして、ご自身の造形手法等について語っていただきます。完全にアナログな方法で作られる山田氏の「造形」は、ほとんど全ての分野にデジタルの要素が介在する現代において、大変貴重な存在と言えるでしょう。講演会場では、山田氏が製作した作品数点を実際にご覧いただくことができます。

講演6 「激動するコミック界、その現在・過去・未来」

講師：小学館 漫画編集者 八巻和弘

日時：2月11日（木）午後6時30分から8時30分まで（30分前から開場します）

会場：本学 南棟 2階 280 講義室

「漫画」は、「絵」と「ストーリー」の両方の才能が要求される特殊なアートの分野であり、「漫画」を作り出す才能を育てるためには「編集者」が大きな役割を果たしています。小学館で「ビッグコミックスペリオール」の副編集長をつとめる等数々の漫画雑誌の編集に携わり、また、漫画家の西原理恵子氏を育て、「西原理恵子の人生画力対決」のプロデュースも行う漫画編集者の八巻和弘氏をお招きします。漫画が作り出される現場について、漫画業界がどのように変わってきたのか、そして今後どのように変わっていくのか等について語っていただきます。

特別レクチャー 「コンピュータ音楽」

講師：音楽家 後藤英

音楽家 RAKASU PROJECT.

音楽家 長嶋洋一(本学教授)

日時:3月19日(土)午後1時から5時30分まで(12時40分から開場します)

会場:本学 南棟 176 講義室

メディアデザインウィーク 2016 では、開催期間内に行われる六つの講演の他に、メディアアートに関する関連イベントとして「コンピュータ音楽レクチャー」を行います。フランスの電子音楽研究機関 IRCAM で活躍する後藤英氏をメインゲストとして迎え、世界先端のメディアアート/コンピュータ音楽について、デモを交えて語っていただきます。また、過去に本学で開催されたメディアアートフェスティバルやメディアデザインウィークで講師をつとめた RAKASU PROJECT.氏と、本学教授の長嶋洋一もレクチャーに参加し、デモを交えて最新状況を紹介します。このレクチャーは、開催日時が他の講演とは異なりますので、ご注意ください。

※各講演の時間や場所は、当日までに変更される可能性がありますので、本学の公式 WEB や構内の掲示にご注意下さい。

【お問い合わせ】

(イベント全体について)

静岡文化芸術大学 デザイン学部 デザイン学科 教授
場ひろし

研究室 tel:053-457-6217

Mail: matoba@suac.ac.jp

あるいは、静岡文化芸術大学 地域連携室 tel:053-457-6105

(TDW2015 受賞作品「kyomei」の展示について)

静岡文化芸術大学 デザイン学部 デザイン学科 准教授
中山定雄

研究室 tel:053-457-6228

Mail: s-naka@suac.ac.jp

(コンピュータ音楽レクチャーについて)

静岡文化芸術大学 デザイン学部 デザイン学科 教授
長嶋洋一

研究室 tel:053-457-6215

Mail: nagasm@suac.ac.jp

【交通アクセス】

本学には駐車場がありません。お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

[交通アクセス](#)